

移動が困難な方を支えるための支援の在り方と総合事業の可能性

Point!!

運転が困難な場合の外出方法は？
代替移動手段があるのだろうか？

作業療法士ってどんな
な運転支援や移動支
援が行えるの？

病気により車の運転が
できなくなった場合の
支援で考えることは？

テーマ

講師の小淵 浩平先生よりご講演


① 移動支援に関する制度や代替移動手段の現状と課題の整理

② 地域に根差した移動支援の実践の紹介

- ・グループワーク

地域で行える移動支援を考える

— 「あるが使われていない」 代替手段・社会資源に着目して —

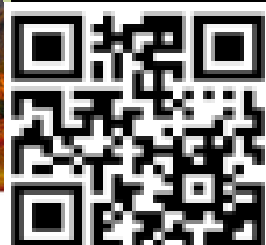
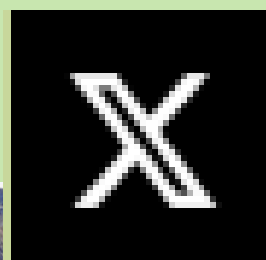
日時	2026年7月11日（土） 10：00～12：00
開催方法	オンライン（ZOOM）
費用	無料
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島根県内の以下の対象者 ・ 作業療法士、その他医療職種、移動が困難な方を支援する行政関係者、両立支援に携わる関係者、その他（※参加人数の上限あり）
申し込み方法	<p>以下のURL、もしくはQRコードより申し込み</p> <p>URL： https://forms.gle/uvyv17GYiwHKO8MF8</p> <p>QR：</p>
主催	一般社団法人島根県作業療法士会「運転と作業療法委員」
お問い合わせ	smn.driveot@gmail.com



小渕 浩平

専門作業療法士
(**運転と地域移動支援**)
(**脳血管障害**)
呼吸療法認定士
MTDLP指導者
博士 (保健学)
3男児の父

「key word」
脳血管障害・上肢麻痺
急性期の作業療法
地域移動支援
地域づくり 社会参加



所属

- 信州大学医学部保健学科作業療法学専攻
- 長野県小布施町 健康福祉課 一般介護予防事業評価事業 研究員
- 長野県小布施町 移動外出・付き添い支援「えべさの会」 副会長(渉外担当)*有償ボランティア

各種委員

- 日本作業療法士協会 学会演題審査委員
- 長野県作業療法士会 地域包括ケアシステム推進委員会 委員長|MTDLP推進委員会 委員|WEB推進班 委員
- 日本臨床作業療法学会 理事(学術部)
- 運転と作業療法学会 正会員(広報委員)

主な業績・受賞

- 小渕浩平,他:急性期病床入院中の脳損傷者に対するドライビングシミュレーターを用いた自動車運転評価と運転再開・非再開の関係性 ケースコントロール研究
- 小渕浩平,他:アクションリサーチによる住民互助型の移動外出支援サービス立ち上げのプロセスと作業療法士の果たしうる役割
- 急性期脳卒中後の上肢麻痺に対する修正CI療法に関する報告
- 学術誌「作業療法」第42巻(2023年) 最優秀論文賞 「急性期病床入院中の脳損傷者に対するドライビングシミュレーターを用いた自動車運転評価」
- 長野県作業療法学会(2024年) 大会奨励賞 「地域住民とつくる互助活動としての移動・外出支援の創出経験からみえた作業療法士の関わりしる:実践報告」

えべさの会の様子

移動支援の取組

- 自治体や住民の課題である「移動」にフォーカスした「えべさの会」に参画
- 「えべさの会」とは、単に自宅から希望の場所にお連れするだけの支援ではなく、通院や買い物等の付き添いや外出に伴うちょっとした困りごとへの支援(生活支援)も一緒に行うのが特徴です。
(ちなみに「えべさ」は、「行こうよ」と呼びかける長野県の方言です。)

